

消費税導入33年 長びくコロナ禍・物価高騰

消費税が導入されてから33年となりました。社会保障のためとして3%で始まった消費税は徐々に引き上げられ、2019年10月について10%となりましたが、社会保障は改善の連続です。

33年間の消費税収の総額は447兆円となる一方、法人税・金持ち減税による減収は613兆円に上り、「法人税の減収分の穴埋めに使われてきた」と全労連は主張しています。

また、政府は消費税の管理体制強化のため、事業実務者



消費税率引き下げて！

にインボイス（適格請求書）導入を検討しています。これに対して全国商工団体連合会や全国生活協同組合連合会などは「インボイス実施は新たな増税となり、事業者の実務負担が大変になる」とこぞって反対しています。長びくコロナ禍のもと、物価高騰が国

ロシアはウクライナから撤退を！

池田町のスタンディング行動

大糸タイムス・市民タイムスで報道される

「戦争法に反対する池田町民の会」「野党共闘をさらに進める大北懇談会」が「ウクライナ連帯・ロシアの戦争糾弾」のスタンディングを池田町で相次いで行いました。行動は大糸タイムスと市民タイムスが写真入りで、大きく報道しました。（会では毎月2回、スタンディングを行っています。）



民の暮らしを直撃しており、主な物価上昇は2月の前年同月比で、生鮮魚介・果物は12%、電気19%、ガス16%、灯油などは33%となつています。

いま求められているのは、ヨーロッパなど多くの国で実施されている消費税の減税です。今すぐ減税とインボイス制度の中止を強く求めます。（中島 牛越邦夫）

読者の声

北へ帰るツグミに託す

近頃夜明けがずいぶん早くなってきました。五時前から小鳥のさえずりが聴こえてきます。うぐいすやひばりなど聴きなれた鳴き声に混じって、控えめな声で不思議なさえずりで鳴いている鳥に気が付き、声のする方へ目をこらした。その先には茶色をしたヒヨドリ位の鳥が鳴いていました。ツグミです。冬鳥として渡ってきて今はシベリア方面に帰る時季です。

シベリアといえばロシア、そのロシアはウクライナに残虐な侵略戦争を行っています。戦争の映像に接する度に、わが身を切り刻まれる思いです。

「ツグミよ、ロシアの人々に戦争を止めよとの思いを伝えてくれ」、「プーチンはウクライナから手を引け」こんな願いをこめツグミの旅立ちを見送っています。 70代男性



憲法改正は喫緊の課題か

憲法記念日が近づきました。自民党は改憲論議を盛り上げようとして、あれこれ策を練っているようです。不安な国際情勢をあり、現憲法を無能であるかのように論じています。

政権与党の取り組むべきは税金の無駄遣いをなくす財政健全化でしょう。年度予算は毎年毎年史上最高額を更新しています。そもそも憲法を守らない人たちが集まって憲法変えようなんて筋が通りません。 吾妻町 西田良平

コロナと上手に付き合っ

まだまだコロナウイルスは収束しない。知り合いも感染したという。先がみえないことに不安を募らせているが、今は毎日感染者が報告されても「どこで？誰が？」と探ることもなくなった。いっどこで自分や家族が感染するかかわからない。神経質になり過ぎず今まで通りやりたいことを続けながら生活したいと思う。マスクは暑いが慣れてきた。（主婦）

部内資料

発行責任者 太田 勲 (62-5727)
議員連絡先 薄井 孝彦 (62-5093)
編集責任者 服部 久子 (62-4357)
山本 久子 (61-1066)

246号
2022年4月

日本共産党
池田ファンクラブ・ニュース
あした天気にな〜れ



（写真）22年参院比例予定候補（左から）大門みきし、田村智子、にひそうへい、いわぶち友、たけだ良介の各氏

日本の進路を問う参院選 9条改憲許さず外交で平和構築を！

公示まで2カ月余りに迫った参院選。ロシア・プーチン政権のウクライナ侵略という事態を受け、「戦争か平和か」「日本の針路が根本から問われます。

ロシアのウクライナ侵略で世界の平和秩序が深刻な危機です。日本はどういう道を進むべきでしょうか。「力には力」「軍事対軍事」でエスカレートするのは大変危険な道です。

“ロシアは侵略やめよ。国連憲章と国際法を守れ”―日本共産党は全世界の政府と市民社会に呼びかけ、国際世論の包囲でロシアの侵略を止めるために力

を尽くします。いま国内の一部に、ロシアとウクライナ双方に問題がある―「どっちもどっち」論があります。これは侵略国を免罪し国連憲章に基づく平和の秩序を否定することにつながります。

「でもロシアって共産党じゃないんですか」―こういう声も聞かれます。日本共産党は、1950年に、日本の党と運動を自分の支配下に置こうとするソ連から覇権主義の干渉を受け、激しいたたかいの末に、干渉を打ち破り、自主独立の路線を確立しました。ソ連側も反省の言明を行わざるを得なくなりました。ソ連共産党を名乗る党が解散してから、もう31年もたつてい

市民と野党の共闘で参議院選挙勝！

市民のつどい

5月3日（憲法記念日）

花時計公園14:00～16:00

杉尾秀哉 参議院議員

（市民と野党の統一予定候補）

野党3党代表



皆さんご参加ください！

コラム 有明

18歳未満の子どもが家族の介護や世話に追われる、いわゆる「ヤングケアラー」について、プロジェクトチーム（共同議長・厚生労働、文部科学両省の副大臣）が5月17日、学校や地域などで早期に見つけて支援につなげるための報告書をまとめました。▼それによると、中学2年生の5.7%、全日制の高校2年生の4.1%が世話する家族が「いる」と回答。親に代わって幼い兄弟のケアをする姿も浮き彫りになりました。▼報告書は、「保育サービスに加え、家庭での家事や子育てを支援するサービスが必要」と述べています。▼ヤングケアラーを早期に見つけて支援につなげるためには、各自治体が独自の実態調査を行うことが必要です。調査に「自分のいまの状況について話を聞いてほしい」などと回答したヤングケアラーが1/2割いたそう

文芸欄 今月は川柳です
○待合室老イルシヨックの花が咲く
○大戦の霊も泣くバカチン下の下
○侵略は歴史に残す醜悪を

山茶 徳子 温燭



4月